

[報告] 1月22日 京都府南丹市に申し入れ

「避難計画には実効性がない。再稼働に反対を表明してください」と要請
➡市は「再稼働と避難計画は別」と回答。

申し入れ：南丹市市民有志（南丹市を構成する4つの市町から1名ずつ連名、ほか有志）
避難計画を案ずる関西連絡会

当日の参加者は南丹市民3名、関西連絡会から2名。

前日夜開催された、丹波の会・美山の会合同ミーティングの結果、「美山の会」の世話人にも申し入れに参加して頂きました。地元町民ならではの指摘が、行政には特に耳が痛いようでした。美山の町民は怒っている、10年前の合併は何だったのかという声があるという指摘に、天を仰いでいました。

1月22日、午後3時過ぎから5時頃まで。南丹市役所にて。

応対：総務課 井上課長、浅田課長補佐

前日午前を送信済みの質問に対し、市は1日では回答できないと回答。改めて申し入れ内容の説明から入りました

1. 4月からの学校統合に伴って運行が始まるスクールバスについて

- ・事故時には、子ども達を送り返すのが市の方針であることを確認。親が不在で帰せない子どもも出るのではないのか、児童一人ひとりの引き渡しについて、保護者と確認が取れているのか。
- ・学校から集団避難させ、避難先で保護者に引き渡すことを考えるべきではないのか。
- ・安定ヨウ素剤の学校での備蓄が必要ではないのか。
- ・4月から始まるスクールバスの運行について、運転手の被ばく、代替運転手の確保はできるのか、等質問。

➡学校の所管は教育委員会なので、知らない、答えられないと回答。

⇒・過疎化が進む中、数少ない子ども達の安全は、市にとって最優先ではないのか。

- ・4月から4校が1校に統合されるが、大野や平屋小の鉄筋2校を廃校にして木造の宮島校を残したのは、シェルター確保の観点が無かったからではないのか。
- ・4月までは、3キロ圏の子どもは徒歩で、以遠の子どもは公営バスで通うが、本数が少ない。この間に事故が起きたら子どもが路上で被ばくする。
- ・安定ヨウ素剤を、学校を含む複数個所に保管する必要を認め、縦割りではなく各課で共有してほしい。

➡学校に配備するという考えはある

⇒美山診療所や一時集合場所55か所に置くべきだ。

2. 福井から兵庫へ避難の場合の汚染検査・除染場所（避難中継所）が美山町長谷運動広場に置かれることについて（文末の図参照）

（1）なぜ地区住民に説明しないのか

長谷の住民は聞かされていない。なぜ住民の頭越しに受け入れたのか。中継所を中心に大渋滞が発生し、美山町民の避難に重大な影響がでる。除染によって発生する汚染水はどうするのか。

⇒昨年 8 月に、福井、国から要請があり（京都府も知っている）、8 月 5 日に区長、議員、地域振興会の会長、消防を集めて説明を受けた。長谷の区長は欠席だったので 9 月に市から別に説明した（注：某区長の話ではこの時の説明資料は外部に出すなと要請された）。

⇒区長への説明だけで地域の同意を得たとするのは、区長個人に責任を負わせるもので、直接住民に説明する住民説明会を持つべきだ。

⇒車の進入路を改良・整備するための工事が必要なもので、それが済んだら住民への説明を考える。

⇒住民の同意を得てはじめて工事であって、逆ではないか。工事はいつの予定か。

⇒目途はたっていない。整備計画がいつまとまるのかの目途も立っていない。

⇒それでは、説明会は開けないということではないか。

（２）国からの説明内容について

⇒福井や国からどんな説明を受けたのか。

⇒**おおい町住民**が兵庫に避難するときの検査場所だと聞いている。**1200 から 1300 人、車 426 台。福井県から 85 人が設営・運営に来る。**（避難経路から推定して、国道 162 号線で長谷に来るのは、おおい町名田庄地区の住民用と考えられる）

・汚染された車は長谷の運動広場で保管する。除染等で基準値以下の車はそのまま兵庫へ避難していくので広い駐車場は不要だ。

・汚染水については「外に漏らさない」と聞いている。具体的には聞いていない。

⇒・12 月 16 日付け内閣府の避難計画では、「自然災害等により使えなくなることを考慮して、複数の避難路を設定する」となっている。震度 5 弱で高速道は通行止めになる。国道 162 号線に集中することを想定すべきではないか。

・市の説明では、おおい町名田庄地区からの避難者に限られるようだが、国等がまとめた 12 月の避難計画書には、国道 162 号線は名田庄のほか小浜市 3 万、若狭町 4 千人の避難路に指定されている。小浜市民と若狭町民も美山長谷運動公園を使うのではないのか。

・小浜だけで 1 万台（3 万人）、車列は 100 キロになる。美山町民の避難路はふさがれ、安定ヨウ素剤も来なくなる。

・スクリーニングの結果、除染できない車は乗り捨てられる。美山長谷運動広場で保管される車の過小評価ではないか。また発生する汚染水について説明がない。

⇒426 台という計画は、おおい町の名田庄だけなのか、汚染水対策について等、~~について、~~福井や国に問い合わせる。

3. 再稼働は延期するよう表明すべきだ

上記の問題だけでも、避難計画が出来たとはとうてい言えない。実効性のある避難計画ができるまでは再稼働を延期してほしいというべきではないか。

➡再稼働は国の責任において実施されるもので、避難計画と再稼働は別だ。再稼働されたら、今の避難計画で対応していく！！

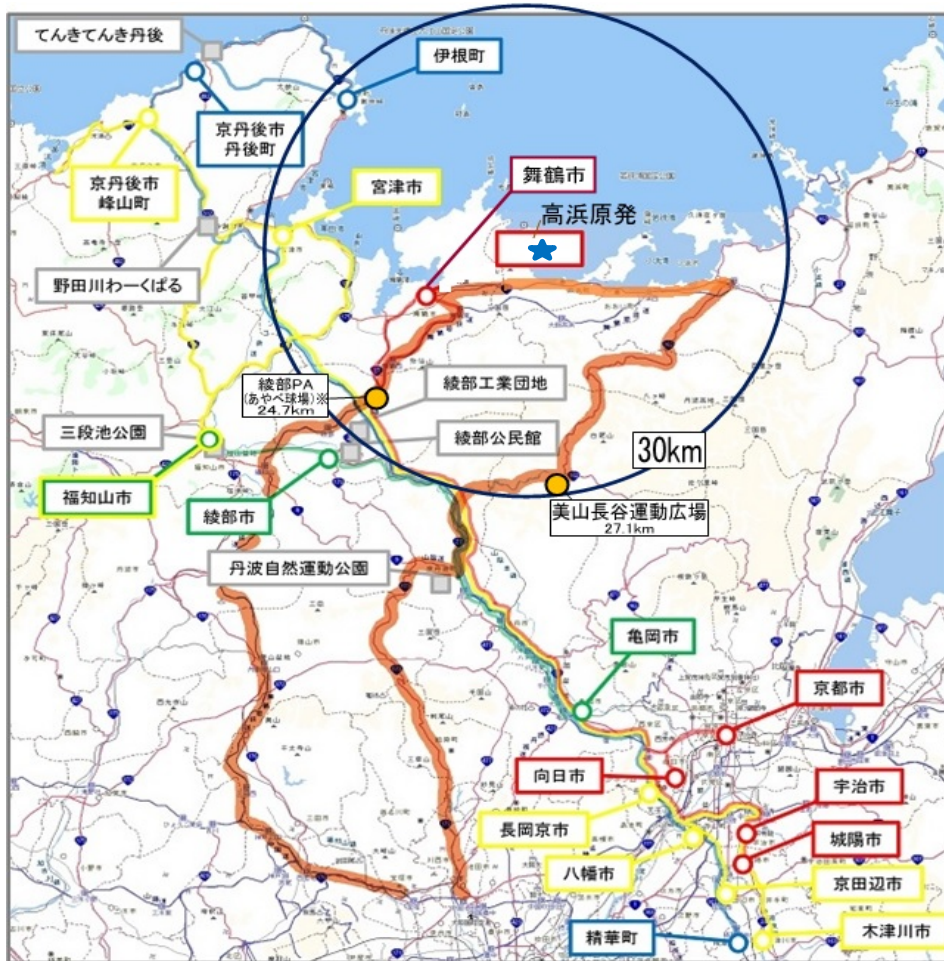
5時になって終了間際に、課長が立ち上がりながら、意見として聞いておくと発言終了した。

2016. 1. 23

(文責：原発なしで暮らしたい丹波の会 児玉)

[参考図]

新たに設置された汚染検査場所2ヶ所 (●)



京都府が公開している避難経路図に、福井からの避難経路と新たな汚染検査場所2ヶ所を追加して作成